

科目名	くらしと憲法 (幼教)				担当	小林 秀茂		
形態	講義	単位数	2	開講時期	2年前期	実務経験	弁護士としての実務経験あり	
必修	幼免：必修				ナンバリング	KC101	DPとの関連	1
授業概要	<p>日本国憲法に関する重要なトピックを概説する。そのトピックの理解を通して、憲法というもの全体の全体像をつかむこと。憲法は、いままで学生のみなさんが学んだことの無い分野で、難しいと思うかもしれないが、そんなことはない。講義前にテキストの該当箇所を読んで来てもらえば予習としてはバッチリである。講師が一方的に講義するのではなく、学生のみなさんと双方向で応答し合う講義をおこなう。</p> <p>憲法の理解を通して一緒に未来を展望しよう。</p>							
到達目標 学習成果	<p>①「憲法とはなんですか」という質問に簡潔に答えられること ②「立憲主義とはなんですか」という質問に簡潔に答えられること ③憲法改正の要件について正しく答えられること ④日本国憲法の構造を簡潔に答えられること ⑤「私は憲法を理解している」と自信を持つこと</p>							
授業計画	回	内容						
	1	憲法ってなに①	憲法と法律が違うことについて理解する					
	2	憲法ってなに②	日本国憲法と先進国の憲法が良く似ている理由を理解する					
	3	憲法ってなに③	憲法が世界中で必要になった理由を理解する					
	4	立憲主義ってなに①	立憲主義が前提としている社会・歴史認識を理解する					
	5	立憲主義ってなに②	立憲主義のルーツを理解する					
	6	立憲主義ってなに③	立憲主義から押し付け憲法論を理解する					
	7	憲法各条の序列①	憲法の条文には序列があることを理解する					
	8	憲法各条の序列②	憲法の条文には序列があるとされている理由を理解する					
	9	憲法の人権カタログ①	表現の自由に関連する条項を概観する					
	10	憲法の人権カタログ②	生命・身体の自由に関連する条項を概観する					
	11	憲法の人権カタログ③	財産権に関連する条項を概観する					
	12	人権のための統治機構①	統治機構を概観する					
	13	人権のための統治機構②	現行選挙制度が憲法に反するとされた最高裁判例を理解する					
	14	日本国憲法改正の要件	憲法96条の要件について理解する					
15	日本国憲法の構造	前回までの講義をおさらいして、日本国憲法の構造を理解する						
評価基準	①講義の出席態度②毎講義で行われる小テストの回答及び③期末試験の結果から、到達目標の到達度を評価する							
評価方法	授業態度 45% 期末試験 10% その他 45% (毎講義での小テスト、裁判傍聴)							
フィードバック 方法								
アクティブ ラーニング								
教科書	内山奈月・南野森 「憲法主義 条文には書かれていない本質」 (株)PHP 研究所							
参考書	必要に応じて紹介する							
履修条件	①前向きに学ぶ姿勢 ②教科書は購入すること							
授業外学習	事前に提示する教科書の該当ページを読んで講義に出席すれば予習は完ぺき。 第1回講義の予習箇所は、内山奈月・南野森 「憲法主義 条文には書かれていない本質」の12～17ページ。楽しく読んでくること。							
オフィスアワー	①講義後に質問時間を取る。② jnymst@gmail.com へメール質問も可。							